

グループホーム LIFE 第 1 回地域連携推進 (委員会・会議) 議事録

提出日： 2025 年 9 月 6 日

記録者： 坂本 司

日 時	2025 年 9 月 6 日 10 時 00 分～ 11 時 00 分	場 所	グループホーム LIFE C ユニットリビング
出席者 敬称略 順不同	(委員 5 名) 地域関係者：下飯田自治会会長 1 名 福祉・経営に知見のある方：社会福祉法人あそびじゅく中村様 1 名 ご利用者家族代表：1 名 ご利用者代表：2 名 (職員) 臼井栄二 (山梨櫨の会 専務理事) 前田卓也・坂本司 (グループホーム LIFE)		
議 題 議事内容 決定事項 等	<p>2025 年度 グループホーム LIFE 地域連携推進会議 議事録</p> <p>次第：</p> <ol style="list-style-type: none"> 開会の挨拶 (坂本) 管理者の挨拶 (臼井) 参加委員紹介 <p>出席者を紹介と自己紹介を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 法人および施設紹介 <ol style="list-style-type: none"> 社会福祉法人 山梨櫨の会の紹介 (臼井) <ul style="list-style-type: none"> 法人内施設、基本理念、組織目標について資料に基づき説明。 経営ビジョン、行動基準について説明。 グループホーム LIFE の紹介 (坂本) <ul style="list-style-type: none"> 基本理念、基本方針、併設サービスについて資料に基づき説明。 ご利用者、職員、サービス (支援) 内容について説明。 地域連携推進会議の趣旨説明 (坂本) <ul style="list-style-type: none"> 会議の目的、内容、効果について説明。 構成員の役割、共同生活援助の概要について説明。 意見交換 <p>テーマ 1: 防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人あそびじゅく：昨年度の会議で防災が地域課題として協議された。指定された避難場所まで重度障がい者が移動するのが困難な場合があり、避難場所の受け入れ態勢も不透明なため、改めて自助の重要性を認識した。 下飯田自治会会長：下飯田地区は荒川沿いの浸水想定区域にあり、避難場所は甲府西高等学校。避難訓練は年 1 回実施している。ライフラインが停止した際の避難所の設備 (特に夏場の暑さ) が課題。行政の対応が遅れる可能性もあり、避難所が開設されない事態も想定されるため、自助が非常に重要である。また、災害時のトイレ確保も大きな課題である。 ご利用者家族代表：災害時に住民全員が避難所に行くのは不可能。グループホームにいてことで支援が受けられることは安心。災害時には施設と安否確認などの情報共有が重要だと考える。 LIFE: LIFE は要配慮者利用施設であり、浸水想定区域のため、避難確保計画の作成と訓練が義務付けられている。避難確保計画を市に提出し、年に 1 回は浸水想定避難訓練を実施。他の 		

訓練と合わせて年3回実施している。今後は地域の防災訓練への参加を通じて、地域とのつながりも深めていきたい。また、3日分の食料・飲料水備蓄はしているが、それ以上の期間の対応には課題がある。

- ・山梨檜の会：災害はいつ起こるか分からず、予防的な準備を法人内で推進する。同地区に3施設あり人的協力体制は整っている。災害時には地域の方々と協力していきたい。防災訓練で震度7の地震体験をした際、改めて日頃の防災意識と訓練の大切さを感じた。

テーマ2：地域との関係づくりについて

- ・社会福祉法人あそびじゅく：地域行事や防災訓練への参加に加え、地域の飲食店利用、子どもたちとの交流などを長年続けている。その結果、地域住民から声をかけられるような当たり前の関係が築けており、法人への協力的な関係性も生まれている。
- ・下飯田自治会会長：池田地区・下飯田地区は夏祭り、秋祭り、防災訓練、花見など多くの行事がある。こうした行事への参加を通じて、つながりづくりができる。10月12日（日）に秋祭り、11月9日（日）に防災訓練を予定している。
- ・ご利用者家族代表：災害時のことを考えると地域との結びつきは重要だが、最近は交流が少なくなっていると感じる。子どもとグループホームまでの道を歩く際、商店などから声をかけられることがあり、地域の一員として生活していると感じられる。
- ・LIFE：自治会の役員として地域に関わらせていただき、夏祭りにご利用者さんが参加し、楽しい時間を過ごすことができた。今後も自治会行事に参加させていただき、関係づくりを継続していきたい。

テーマ3：サービス（支援）について

- ・LIFE：LIFEでの生活スケジュールやご利用者の日常について紹介。
- ・ご利用者代表1：職員に相談することで困ることなく生活できている。
- ・ご利用者代表2：そこそこ楽しく生活している。
- ・ご利用者家族代表：子どもには障がいがあっても社会から隔離せず生活させたい。一度の人生を楽しく過ごしてもらいたい LIFEでの2年間の生活は安心して楽しく送っており、感謝している。

6. まとめ

委員の皆様からいただいたご意見は今後の事業所運営に活かし、ご利用者が安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう努めていく。本日はありがとうございました。次回は来年度同時期に開催を予定している。

7. 施設内見学

ユニット内の居室、浴室、トイレ等の設備、事務室、相談室を見学。

次回開催予定日：2026年9月

配布資料	有（20250906 地域連携推進会議資料（LIFE））・無
------	--------------------------------

※会議等終了後、休日を除いて3日以内に本書類を作成し、委員長（議長）に提出すること。	管理者	事業部長	委員長・議長
	20250906	20250906	
			